

第 18 期事業報告書

(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人札幌 VO

1. 事業の実施方針

※子ども・青年の社会参加や労働体験の機会を作り地域社会との連携を図ってゆく。

※音楽による人づくり・まちづくりを推進する。

※安定経営に向けた事業を構築する。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

●社会貢献事業

【フリースクール】①戦う！あしたや

【スタッフ・ボランティア体制】常勤 1 名・非常勤 5 名

【目標】 物販活動でプログラムに必要な経費を自分たちで捻出しながらプログラムを進めて行く。
今年度はフェアトレードに力を入れて販売してゆく。

【活動】 ① 青年らの自主的活動を支援する。

② 札幌市の施設、地域との協力関係を大事にしてゆく。

事業報告

① 販売実習

フェアトレード商品を販売実習として使用している「戦う！あしたや」は本年度も区民センターを中心にイベント等、年 250 日間フェアトレードを紹介、販売し廻りました。

札幌市が SDGs（持続可能な開発目標）未来都市となり、更に 2019 年、札幌市がフェアトレードタウンとなる事が決まり一般の方へフェアトレードの浸透が希望の持てる状況となりました。

フリースクールがフェアトレードを行っているのは日本で VO だけで名古屋のセミナーで大通高校と VO が紹介されるなど動きが活発化しつつあります。

また白石区複合庁舎（2016 年 9 月完成）白石区役所イベント広場で月平均 2 回行う「フェアトレード&紙工作ワークショップ」も 3 年目を迎え青年らの自主的なプログラムとして定着しました。

② 地域の祭りに参加

地域の祭りにくじ引きで参加しました。今年は7月の白石ふるさと祭りは行われましたが、8月は雨、9月は地震がありイベントが全て中止となり残念な結果となりました。

③ 委託販売

現在、小樽の引きこもり支援事業のカードと元不登校の青年が主催する「だがしやプロジェクト」の紙工作キットを販売しています。最近はVOの商品として定着しています。

●文化・芸術の振興事業

【目標】 音楽等を通して地域社会を活性化するよう活動する。

【活動】 ① 小学生から大人まで幅広い年齢層が参加できる環境づくりをする。
地域の祭り、イベント等での繋がりを大事にし、ライブ活動を行う。

事業報告

誰でも参加型ライブイベント「元気玉ライブ」は月に1回白石区民センターを中心に行いました。年齢性別障害の有無を問わず音楽で元気と仲間作りを目標に行い今年度も多くの方が参加しました。常に新しいメンバーが加わり、新しい個性が見え、また新たな展開が生まれる、そんな一年でした。毎回コーディネートをするト部氏、機材を提供してくれる後藤氏が大きな力となっています。地域のイベントへの参加は地震等の影響で中止が相次ぎ残念な結果となりました。

●地域文化振興とまちづくり事業

【目標】 VO-lunch 新聞の発行で地域との連携を図る。

【目標】 ① 地域のニュースやイベント、VOの活動の様子などを中心に作成。
町内会、商店街、物販等で配布する。

事業報告

VO-lunch 新聞は月1回、地域へVOの活動を発信する媒体となっています。物販、ライブなどの予定、更にイベント参加やライブニュースなど町内会、商店街を中心に配布しています。

※新聞添付（2018年4月～2019年3月）

●その他の事業 なし